

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科		
科目名称	中等教科教育法・農業					授業形態	講義		
科目コード	410701	単位数	4単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	岩田 賢士							ICT活 用	○
授業概要	<p>本授業の目的は、高等学校農業教員を目指す学生に対して、農業教員としての資質や農業教育に関する知識・技術・態度等の育成するものである。そのために、高等学校（教科「農業」）教員として35年間（内11年間管理職）、特別支援学校教員1年間の中で培った教育経験を生か指導・支援したい。その目的を達成ために次の様な目標を設定し実践していく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 農業教員として必要な資質（特に人間性）を涵養する 2) 農業教育に関する知識・技術が活用できる 3) 学習指導要領を理解し、実践できる 4) 年間指導計画・学習指導案・シラバス等が作成できる 5) 学習指導案に沿った模擬授業ができる。 <p>などであり、本授業を通して教員としての資質等を身に付けさせるものである。</p>								
関連する科目	学科の各専門科目並びに教職概論・教育の方向と技術等が関連性が強いので、しっかりと学修すること。								
授業の進め方 と方法	<p>※以下の様な授業方法を組み合わせて授業を展開していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一斉授業・・・各講義毎に授業資料を作成し、それを活用して授業を進め、必要に応じてディスカス。 ○ワークショップ・・・課題を提示してグループ活動を行う。（グループ討議・発表・意見交換） ○プレゼンテーション・・・夏休みの課題として、各人プレゼンテーションを作成し、それを発表する。 ○学習指導案作成・・・数名一組のグループを作り、協力して、年間指導計画→授業計画→単元計画→学習指導案→板書計画、そしてシラバスを作成する。○模擬授業の実践・・・3人一組で作成した学習指導案を元に模擬授業の実施（板書計画は各人が作成） <p>★各実践の中でICT活用を図る</p>								
授業計画 【第1回】	1. 高校が求める教員像と農業教科教育法の意義 教員として求められる資質・能力について。特に農業科目を指導する教員に必要な条件は。								
授業計画 【第2回】	2. 農業教育の歴史 日本の教育制度の変遷と農業教育の歴史について。								
授業計画 【第3回】	3. 全国農業高校の概要 農業高校の学校数・分布・創立・役割について。								
授業計画 【第4回】	4. 教育課題と農業教育 現在の教育を取り巻く諸課題と農業高校における課題について。								
授業計画 【第5回】	5. 農業高校の組織と運営 学校の校務分掌と役割について。								
授業計画 【第6回】	6. 農業高校の教育目標と教育課程の編成 各農業高校の教育目標設定と、具現化ための教育課程編成について。								
授業計画 【第7回】	7. 教育に関する法規について 教育とその教育の背景にある教育法規の重要性について。								
授業計画 【第8回】	8. 教育課程行政と学習指導要領について 「教育の機会均等」「教育の維持向上」を担保する教育課程行政について。								
授業計画 【第9回】	9. 学習指導要領Ⅰ 総則 理念と概要 学習指導要領総則 高等学校教育の基本と教育課程の役割。								
授業計画 【第10回】	10. 学習指導要領Ⅱ 学習指導要領解説（農業編） 農業科改訂の趣旨及び要点・目標・内容構成について。								
授業計画 【第11回】	11. 学習指導要領Ⅲ 学習指導要領解説（農業編） 具体的な科目 「農業と環境」「総合実習」「課題研究」について。								
授業計画 【第12回】	農業クラブの目的と意義・組織と運営、プロジェクト学習について。								
授業計画 【第13回】	13. 農業教科教育法Ⅰ 座学と実験実習 農業教育の具体的実践について。								
授業計画 【第14回】	14. 農業教科教育法Ⅱ 施設管理と会計 農場実習と生産物の取扱・収支等について。								
授業計画 【第15回】	15. 農業教科教育法Ⅲ 前期の総括 各農業高校のHP内容と教育課程から、その学校の教育内容を読み解く。								
授業計画 【第16回】	16. 母校紹介（母校プレゼンテーション） 夏休み課題（母校紹介スライド作成）の発表。								
授業計画 【第17回】	17. 指導と評価の一体化 学習指導方法と評価規準について。								
授業計画 【第18回】	18. 年間学校行事表の作成 年間学校行事の計画表を作成する。								
授業計画 【第19回】	19. 年間学校行事と授業実施数 年間学校行事表から年間授業実施可能時間数を算出する。								

授業計画【第20回】	20. 年間授業計画表作成Ⅰ 年間に実施する授業概要について、月別に内容を定める。
授業計画【第21回】	21. 年間授業計画表作成Ⅱ 年間に実施する授業内容を毎時間毎に細かく決める。
授業計画【第22回】	22. 単元計画表作成Ⅰ 単元の選択と評価規準の設定。
授業計画【第23回】	23. 単元計画表作成Ⅱ 単元計画表全体の作成。
授業計画【第24回】	24. 振り返り 「指導と評価の一体化」「年間学校行事表」「年間授業実施可能時間数(每学期毎)」「年間授業計画概要(月毎)」「年間授業計画表(毎時間毎)」「単元計画表」について復習(理解の確認)を行う。
授業計画【第25回】	25. 学習指導案作成Ⅰ 単元計画表の中から1時間分の授業を選択し、「評価の観点」まで作成。
授業計画【第26回】	26. 板書計画作成 学習指導案を基に「分かり易い板書方法」の作成。
授業計画【第27回】	27. まとめ 「指導と評価の一体化」から「年間学校行事表作成」・・・「板書計画作成」までの振り返り。
授業計画【第28回】	28. 模擬授業Ⅰ 授業方法と技術① 黒板だけを使った授業形態
授業計画【第29回】	29. 模擬授業Ⅱ 授業方法と技術② 模造紙や実物を活用した授業形態
授業計画【第30回】	30. 模擬授業Ⅲ 授業方法と技術③ ICTを活用した授業形態
授業の到達目標	農業教育の概要(全体像)を理解し、教員としての資質を醸成する。そのために、 1) 農業教育と教育法規の関係を理解できる。 2) 高等学校学習指導要領について理解できる。 3) 農業高校と農業教育の具体的内容が理解できる。 4) 年間授業計画・単元計画・学習指導案の作成と模擬授業の実践ができる。 5) 教員としての規範意識・倫理観を育む。 のような目標を持って授業を実践する。
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	・課題レポートの提出を求めるので、しっかりと調べ学習を行い自分の意見をまとめる。(30時間) ・科目に関する課題を見つけ、書籍・インターネットを活用して解決する。関連する書物を読む。(30時間) ・夏休み課題・模擬授業の準備や練習(20時間)
授業時間外学習【復習】	・各講義の内容を補完するために講義中に配布した参考資料を使って復習を行う。(40時間)
課題に対するフィードバック	1) 毎回講義後にレポートを出し、提出させる。そのレポートを採点し、返却する。 ※レポートは、講義翌週の火曜日までに提出。 2) テストを実施し、それを返却する。 3) 提出レポートに教員への要望・質問欄を作り、そこに書かれていることに回答する 4) 個人的な課題等については、時間外に個別対応する。 ※以上の様な取り組みのまとめとして、ポートフォリオを作成させる。
評価方法・基準	★この講義に関しては、4/5以上の出席がのぞましい。 1 平常点・・・授業中の態度など取組状況 (30点：小テスト・課題レポート・授業中の態度等を含む) 2 レポート点・・・毎授業後の提出レポートを提出(30点：提出期限を厳守すること、遅れると減点することもあります) 3 テスト点・・・テスト(40点) ※場合によっては、期末テストをレポートに代えることがある。 4 年間を通して行う講義なので、再テストはしない。
テキスト	・各講義毎に講義資料を作成し、それを配付する。 ・学習指導要領並びに学習指導要領解説
参考書	文部科学省「高等学校学習指導要領」総則・解説 「教育六法」三省堂
備考	